

恵那南地区中学校開校に向けての説明会議事録

開催日時 令和5年1月23日(水) 午後7時～
開催場所 岩村コミュニティセンター
出席者 保護者 64名
その他 21名
説明のため出席した事務局職員等 8名

開 会 (午後7時)

教育長 挨拶
室長 恵那南地区中学校開校に向けての説明

保護者 岩村が元々地元じゃなく、移住者という視点で言うんですけど、はっきり言ってこの結局反対派、賛成派ってどんくらいなんでしょうか。すいません、正直に言って反対な人だけ手挙げていただいて(12,3名程度挙手)。賛成な人(2,3名程度挙手)。反対が多いのに、時期を決めてやるのはちょっとおかしいのかなと思いますけど。

あと、部活もあれば送り迎えもあるし、車のバスを10台。既存バスを使うとして、新車で8台を買うということで、車代もあるし、車検代もあるし、運転する人もいますよね。ちょっとコストがかかりすぎる、それプラス校舎の改変せなあかんし。この案に対して反対が結構多いと思うんですけど、傍から見て、コストがかかりすぎると思うんです。誰が出すんですか。市なんですか。市って、誰の税金なんですか。ちょっと納得するまで質問させてください。

教育長 賛成の方、反対の方、それからまだ意思表示ができないよっていう方、お見えになるってことはわかります。他のところでもこのように説明をさせていただいております。今のように手を挙げていただいたりってことはしていませんので、皆さんが賛成なのか反対なのかという、しっかりした意思表示はいただいておりますけれども、恵那市の教育委員会としましてはこんな風に考えております。1つは、子供たちがより多くの考えに触れたり、色々な人と接する中で、社会性をより豊かに育てていただきたいな、ということが1番の思いでございます。そうしますと、ある程度人数が学校にいないと、そういう力を十分につけたりすることができないのではないかと考え、統合することが良いのではないかと、ということで今進めておるところでございます。また、お金のことにつきましては、確かにたくさん掛かるわけでございますが、国からの補助も含め、色々なことをこれから検討していきながら、少しでも市の負担が少なくなるように、そんなことも考えておりますので、よろしく願いをいたします。

保護者 何も言わないっていうのもちょっと私としては、あまり納得がいかないところがあって、ちょっと発言させてもらいたいんですけど。私は正直その合併自体が反対っていうわけではなくて、令和8年度っていう3年後にやるのはどうなんだっていうところで、すごく納得がいていません。理由としては今ここにもあるように、平成23年度に112人、今5年生かな。恵南地区で4クラス平成24年に生まれた子が116名4クラス。平成25年に生まれた子は94人3クラス。このまま見ていくと、平成29年に生まれた人は多分64人なんで2クラス。それ以降は多分2クラスになっていくと思います。そうすると、3クラス以上が維持できるのが6年。変なこと言ったら、4クラスで維持できるって

うのは2年になると思います。その2年のために、増改築をここまでするのか、その2年のためにバスをここまで買うべきなのか、実際かなり子供が減少するっていうのは、この29年、もしくは去年令和4年だと思うんです。だったら、その29年に生まれた子が、通えるようになっていう風な全体的な増改築の費用も、スクールバスの費用も確実に減ると思うんですが、その辺の提言はどうなのかっていう。いきなり5校を1つにじゃなくて、以前の私、あの平成28年とか29年の時も子供が保育園にいたので、いろんな反対意見も聞いていました。その時に、2校とか3校からスタートして、順を追って1校にできないのかっていう話も聞いていました。なので、その辺も踏まえた上で、なんで急に出てきたんだ、5校を1校にっていうのが正直なところの意見です。なので、詳しくその辺が具体的にお金も含めてですけど、分かるありがたいなと思って質問させていただきます。

教育長

ありがとうございます。お金のこの前にまず人数とか、なんで1校なのかというお話でしたけれども、今おっしゃられた通り、令和7年度までで言いますと、岩村は例えば令和7年度などは各学年2クラスになるんですね。令和8年度、令和9年度とそのまま行くと、令和10年度から1クラスずつに岩村でいくとなります。例えば人数が多くなると、1つは先ほど言ったいろんな考えに触れることができるということもありますし、それからもう1つは、実際に人間関係のことで色々悩みを持つ子もおりまして、例えば学級側ですね、クラス替えができるかできないかっていうのは、かなり大きな部分を占めるところもあるんです。それが2クラスよりは3クラスか、本当は4クラスぐらいあるといいんですけども、4クラスっていうのは数年で、あと3クラスはずっと続くんですね、統合しても。なんですけど、そういうことも考えると、人間関係のことも含めて、社会性とかそういうことも含めて、ある程度の規模はやっぱり早くに確保してそういう生活をさせてあげたい、というのが思いでございますので、先ほど言われました2校とか3校にしてからと言いますと、結局ずっと2クラスがいけないというわけじゃないですけど、2クラスよりも3クラスという先ほどの考えから言いますと、もう一つの学校にした方がいいのではないかということを考えて、2つの学校、3つの学校ということも考えましたけれども、1つで早く実現して、子供たちにより良いというよりも、より充実した生活を送らせてあげたいという思いで考えました。

保護者

私1学年1クラスで中学行きました。確かにそういう問題はありました。ただ、高校に入っても、専門学校、これが続いても人間性が乏しかったとも、社会性が乏しかったとも思ったことは正直ありません。なので、言い訳にしているのではないのでしょうか。

教育長

ありがとうございます。もちろん私も、小さい学校がダメとか、そういうことを言っているわけではありませんけれども、今のように自信を持って、1クラスずつやってきてって言われることもありますけれども、そうじゃない方ももちろんお見えになるわけですので、私たちとしましては、実際に学校の現場でそういうお子さんもいるということで、できましたらある程度の規模の学校で、生活させてあげたいというのが本音でございます。ですので、4クラスということより、3クラスでももちろんいいと思いますけれども、とにかく複数の学級を維持したいという風に思っています。

保護者

維持ができないのを作ってどうするんだって聞いているんです。

教育長

いや、いずれはそうなるかもしれませんが、今の子どもたちがそういう可能性があるならば、そういう学校は作ってあげたいと、そういうことになります。

保護者
教育長
保護者

クラス替えを体験させたいんですか、
はい、できれば体験させたいです。
自身私、小中といじめられていたんですけど、私のクラスは三河の方なんですけど、3クラスあってもメンバーシャッフルというのができますし、別に学校を増やさなくても他校との交流はできると思うので、イベントさえあれば。部活動だったり、学芸会だったり、運動会だったり、色々あると思うんです。私は、子供の成長に対しては、中学校までは地元にいる方がいいと思うんです。高校からはどこ行こうか、勝手に本人が決めますけど。中学校までは地元に来て、地元のおじいちゃんおばあちゃん、親戚の人、近所の人と仲良くやっていた方がいいと思うんです。子供の成長のために、そっちの方がいいと思います。

副室長

ありがとうございます。色々なご意見のお持ちの方いらっしゃいまして、広々いろいろな方からのご意見もいただきたいと思います。

保護者

今お二方が質問されたこと私もすごく思っていて、でも同じような事になるよりはかは違うことを質問させていただきますけど、部活動は結局どうなりますか。

教育長
保護者

どうなりますか、と言われますと。
私の子供は2年生から3年生、だから3年生になる時に新しい中学校になるんですよ。その後、6月に中体連があります。中体連もなくなるみたいなことを聞きましたけれども、それも多分決まっちゃはないんですよ。そうしましたら、新しい中学校になります、今までレギュラーだったのに、人数が増えました、補欠になりました、そういうことですか。そういう風に進められていくんですかね。

教育長
保護者
教育長

そういう風になるというわけではないと思いますが。
じゃあどうなりますか。
どうなりますか、と言われますと。まず部活動につきましては今何部ですかね。

保護者
教育長

まだ今5年生。
そうですか、すみません。そうですね、これから中学校に入って部活動に入るとは思いますけれども、もちろんその部活動を維持することも考えられます。それから今の部活動が大きく形が変わろうとしていまして。来年度から数年かけて、言葉で言うとちょっと誤解をお招きするんですが、地域移行というようなことを言いますけれども。地域の指導者とか地域の競技団体から、指導者、コーチとかそういう方を招いて運動するという形へ向かっていくわけなんです。そうすると、今と同じような形では部活動が行われない可能性もありますので、それはもう少し様子を見ないとわからないというところがあります。

保護者
教育長

それはどれくらい様子を見るって、あとどのぐらいかかるんですかね。
まず実際のところ、地域移行というか、地域の方等に教えていただくということは、今ほとんどの中学校でもう進んでおりますので、そこについての指導者とかを探すということは、問題はほぼないと思っています。ですので、今度は1つの学校になった時に、どのぐらいの規模になって、場所はどこで練習するとか、そういうことについての話し合い等がされるのではないかなという風に考えております。

保護者
教育長

それが3年の間になりますか。
令和5年度から数年のうちに地域移行しましょう、ということで国も言っておりますので、それに向けて恵那市も今準備をしているところでございます。他の地域に比べると少し進んでいるということでございます。

保護者 多分それはこの3年間なんですけど、私の子供が入るのは3年生になるわけなんです、新しい中学になるのは。だから、じゃあその1年生と2年生で続けた部活はそのままの形なのかどうなのか。

教育長 学校が一緒になったら、さらに3年生になってから入りたいという方も見えるかもしれませんので、全く今と同じメンバーで3年終わるまでという風になるかどうかは、その時の様子を見てみないとわかりませんが、今まであったものをなくすとか、そういう形にはしません。

保護者 部活動みたいなそういう活動はあるっていうことでいいですかね。

教育長 部活動はあります。

保護者 あとこの施設を増設するところに、体育館みたいなものは入っていませんけど、それはどこですか。

教育長 すいません、もう1回言ってください。

保護者 部活動がこのまま続けてってなるんでしたら、体育館の増設はないんですか。みんなが競技、球技なりなんなりする場所は確保されているんですか、これで。

教育長 実際のこのぐらいの規模の学校で言いますと、体育館を順番に使ったり、グラウンドを使ったりという風にして、使える日を決めたりしてやっているのが現状でございますので、その辺のところは例えば山岡でしたら、B&Gとかというような施設とか色々ありますので、そんなことも含めて活動場所を確保できるようにはしますけれども。例えば屋内の部活が毎日毎日屋内とかそういう風にはならないかもしれません。

保護者 あと1つだけすいません。高校に入る時の入試の推薦枠はどうなりますか。今は多分岩村で何人とか、明智何人とか決まっていると思うんですけど、それを新しい中学校で全体で何人にするのか、今まで岩村中学校にいたからその子供たちは何人とかそういう風に分けていくのか、そこらへんはどう考えてらっしゃいますか。

教育長 今の高校入試には、公立高校には推薦制度がございませんので。

保護者 公立高校。

教育長 はい、ございません。

保護者 私立高校に行くとか、そういう場合の推薦枠の人数の定めとか。

教育長 推薦枠は基準がございまして、それに叶えばもちろん、受け入れる高校の人数にもよりますけれども、割り振りがあるわけではございませんので、それは大丈夫だと思います。学校が大きくなっても、基準に合えばですね。もちろん推薦にはちゃんと叶っていくと思います。

保護者 もう1つ。岩邑中学校にある授業で、温故知新という授業がありますけど、それはどうなりますか。

教育長 ありがとうございます。それはいろんな地域で言われておりまして、例えば、あの串原で太鼓やっているけれどもどうなるんだとかっていうことでございます。恵那市は、ふるさとの学習というのを大切にしておりますので、全くなくなるわけではないんです。ただ、時間数がですね、今まで10時間やったものが8時間にして、他の地域のことも学ぼうとか、そういうこともあるかもしれませんが、今申し上げることができるのは、そういう活動はなくさない、なくしません。ただ、今と同じ時間ができるかどうかというのは、新しい学校になってみて、いろんな地域もやりたいことあるんです。そういうことも含めて考えていきたいと思っています。

副室長 よろしかったですか。ありがとうございます。それではご意見のある方、お願いいたします。

保護者 一通り終わったので、時間多分かなり使っちゃうかもしれないんですけどもお願いします。経緯について色々聞かせていただきたいなっていうところと、冒頭仕事終わってという状況でこの場に似つかわしくない発言等あるかもしれないですけど、その辺はご了承いただけたらと思います。まず1つ目の質問させていただきます。まず、この経緯についてもう一度正確な情報をお伝えいただきたいんですけど、26年から開始されて、今日4年まで進んでおりますけれども、29年から令和2年の間、答申の課題18項目でありますけれども、ここでかなりの時間を要しておりますけれども、ここで何かあったんじゃないかなと思うんですけど、この辺についてはいかがでしょうか。

室長 平成29年から令和2年の間、こちら答申の課題18項目の検討・検証でございます。教育委員会として、平成28年3月に地域の皆様から再編検討委員会から答申をいただいて、8項目の付帯事項というものが実はございました。その付帯事項というものから出たのがこの課題の18項目でした。これを検証していたということが、この年になります。例えば、新築ということでしたので、場所の整理ですね。山岡の新築ということでしたので、どこの場所がいいのか、誰が所有者なのか、どのくらいの費用か、用地の面積はどれくらいなのか、そういったことの検証をしていました。要は答えがまだ出ていなかったということです。答えが市の中、教育委員会の中、全体の中で出ませんでしたので、皆様の方にお伝えすることもできず、この6年がかかってしまったということが現実でございます。

保護者 すいません、この検討するのに5年もかかるんですか。時間にしたらどれだけですか。あと、人数何人でやられているって感じですか。本当のこと教えてくださいって僕言っているんですけども。事実をちゃんと伝えてほしいんですね。ここで多分ですけども、僕の認識では1回止まっていると思うんですよ。あと、教育委員会の議事録拝見しているんですけども、検討されているような教育委員会の議事録、どこにも出てこなかった気がするんですけど、ごめんなさい。ちょっとあまりにも年月ありすぎるんで、全部見切れてないっていうのは事実ですけども、その辺についていかがでしょうか。

室長 検討しているというのは内部での検討ですので、議事録等はございません。公文書で公開することもたまにはありますけれども、そのときには本当に事務的なところの中で検討してきたというところですよ。ですので、今で言うと、教育委員会の教育総務課が中心となって、関係する各課へ依頼をかけ、このことについて検討してきたということでございます。内部で何度も議論していく中で、さらに課題ができ、また議論してということは何度も繰り返していたということが事実でございます。ですので、何も決まってないというところが、皆様の中では止まっていたという風に捉えても仕方がないかとは思いますが、

保護者 ここで多分なんですけれども、反対署名が出ていると思うんですけど、ここで止まったという認識がある方もいると思うんですけど、その辺についていかがでしょうか。

室長 そういう認識ではございません。

保護者 そういう認識ではないっていうことで5年も止まったってことですか。じゃあ、ちょっと申し訳ないですけど、この5年間にやられていた、検討されていた内容のエビデンスカードなんですけれども、そういったものを提出いただくことは可能なんですよ。

室長 検討した詳細につきましては、令和4年の3月から6月にかけてこちらの地域説明会をした折に、皆さんの前で説明をさせていたことはあります。その書類についてももし必要であれば、請求していただければ出したいと思っています。

保護者 僕が言っているのは、27年の答申後の話で、そこについて教育委員会が検討されていたかどうかという質問なんですけれど。

教育長 ありがとうございます。私、答申を受けた時にも教育委員会にいましたけれども、答申を受けてから先ほど申し上げました8項目の、もう少しこも考えてねという項目をいただいたので、それについて実際には検討とか色々していくわけですが、実際にはその中で、内部の中で検討して、こんな検討しましたという風にして、部長会みたいなところとか、市の決定をするような機関のところを持っていくと、さらにこういうこともどうかということがどんどん出てきます。それからもう1つは、その間にも地域からもいろんな声をいただいておりますので、それも含めて、例えば地域からこういう意見も聞いているので、もっと他にもこういうことも考えたらということで、検討する課題が実際に増えていったということも現実でございます。そんなことをやって、何もやってなかったわけではないですけども、18項目以外でも色々話をしていく中で、5年という時間がかかってしまったということが現実でございます。

保護者 18項目ありますけど、じゃあ今回5,6,7の課題については、なんで統合準備委員会で検討になったんですかね。ここも十分検討できる時間あったように感じるんですけどもいかがでしょうか。

教育長 ありがとうございます。5,6,7、検討はしましたけれども、今ご存じのように、例えば先ほど申しました部活動なんかは、この頃と状況は変わってきてしまっています。そういうこともございますので、検討をしましたが現状に合わせて、統合準備委員会でも協議していただけたらなということでございます。

保護者 ある程度検討されたということでよろしいでしょうか。

教育長 そうですね、部活動はこのぐらいできるのではないかと、そういうようなことも含めては行いました。

保護者 課題7に関しては、そんな別に時間かかるような内容では…。ごめんなさい、ちょっと時間長くなっちゃってやめます。ちょっとじゃあ、次の質問に移らさせていただきます。今回あんまり関係ないかもしれないんですけども、教育委員会とはどのようなものなのか、ちょっとご説明いただけますでしょうか。

教育長 難しいご質問ですが、まず教育委員会というのは、5人の教育委員による合議制のもとに成り立っている会でございます。そこで、教育に関わることについて色々検討し、方向を出していくという委員会でございます。

保護者 以上でいいですか。その認識はもう皆さんちゃんと持たれていますか。あと、教育委員会制度の意義、文科省が出していると思うんですけども、こちらについてはいかがでしょう。

教育長 教育委員会制度といいますのは、政治と切り離れたところにあるということだという風に捉えておりますので、教育の施策については教育委員会で十分検討して、実際に行っていくことができる、そういうためにあるものだという風に捉えております。

保護者 ホームページから文科省の内容引っ張り出していきますので、ちょっと読み上げますね。まず今言った政治的中立性の確保、2番として継続性・安定性の確保。こちらにつきましては、教育というのは結果が出るまで時間かかりますので、その結果把握しにくい特性から学校運営の方針変更など改革改善は、漸進的なものであることが必要。丸3、地域住民の意向の反映。教育は地域住民にとって身近な関心の高い行政分野であり、専門家のみが行うものではなく、広く地域住民の意向を踏まえて行われることが必要という風にあります。この点につきまして、意義に沿った内容で今回進められているという認識でよろしいですか。この今、学校再編について進められているという認識でよろしいでし

ようか。

教育長 教育委員会だけでということではなくて地域の方等にも、十分かどうかということにつきましては、何回やれば十分かというのは難しいと思いますけど、しっかりと行ってきたという風に捉えております。

保護者 先ほどありましたけれど、ここで漸進的なものであることが必要ということに書かれているにも関わらず、なぜスピーディーに進める必要があるか、このことについてはいかがでしょうか。

教育長 スピーディーにといいますか、今の子供たちにとってできるだけ早く、より良い環境を作ってあげたいという思いがあるので、最短でどのぐらいかというようなことも、ご質問が協議会の中でありましたので、3年でなんとかできないかということでも3年という風にそこではお答えをさせていただきました。

保護者 ありがとうございます。じゃあ続きまして、今回この環境等検討委員会を設置して、その提言に伴って進めるとおっしゃっておりますけれども、検討委員会こちらの意義について、目的ですね。設置した目的について教えていただけますでしょうか。

教育長 目的につきましては2つでございます。統合の場所について、そして統合の時期について再度検討していただくということでございます。

保護者 議事録に書いている内容と違うんですけれども、そこについては大丈夫でしょうか。

教育長 大丈夫です。最初の検討委員会のところでも、実はご指摘をいただいたんですね。なぜ私たちを集められたのかと、もう少し明確にしてほしい、というようなことも実際にはいただいておりますので、その中で統合の場所、統合の時期、これについて検討していただきたいという風に話をさせていただきました。

保護者 じゃあこれ検討委員会の設置要項が間違っているってことですかね。設置のところ、第1条読みますね。良い教育環境の整備及び充実を検討するためにこの検討委員会を設置するって書いてあるんですけども。

教育長 そうでございます。要は、教育環境等検討委員会は恵那南地区だけのことで話し合うということではなくて、その都度、例えば今回は恵那南地区のことでございますが、例えば恵那市全体の教育環境等についても話し合っていたく時には、またこの会を集めて話し合っていたくということもありますので、そういう意味で、そのような書き方になっていると思います。

保護者 第2回の委員会の冒頭にあります文章なんですけれども、今おっしゃった通り、検討委員会の内容が曖昧だからってことで第2回でやっと、委員会の目的は恵那南地区の望ましい学校教育環境について検討し、恵那市教育委員会へ提言する、これが目的でございますと、事務局の方お答えしております。ということは、ここの委員会の目的は、恵那南地区の望ましい学校教育環境について検討するという風に目的がここで明確化されておりますよね。今、言った内容と違う気がするんですけども大丈夫ですかね。認識がかなりずれているような気がするんですけども。

教育長 その教育環境等検討委員会の中で、様々な環境のことについて説明をさせていただいておりますが、その中で私たちが、教育委員会が進めていくためにはまず場所と、それから時期がもう大前提でございまして、そこが決まっていかなないと次へ進んでいけないということもございましたので、まずそこに特化して提言をいただき、それ以外の環境等についてもお示しはさせていただいておりますので、検討事項のこととか、これまでの経緯も含めて。その中でご意見もいただいているかと考えております。

保護者 目的と書いてあるんですよ、これが目的は教育環境について検討するという風に言っていて、結局進めてく内容が手段になっちゃっていると思うんですよ。山岡にするとか、1校にする。これって、委員会の役割が成り立っていない気がするんですけども、この辺は大丈夫なんですかね。この委員会は何をするためにあるのかというのが全く理解できないんですけども、その辺についてどうでしょうか。

室長 私の方があの事務局でしたので、説明させていただきます。まず、この教育環境等検討委員会につきましては、先ほどおっしゃられましたように、目的がこの恵那南地区の望ましい学校教育環境について検討し、恵那市教育委員会へ提言するという事は、第1回目で皆さんに話終わりました。というのは、今日はこちらの方から、教育委員会から検討委員会に、第1回目の時に、こんな問題がありますよ、ということをご説明させていただいた中に、恵那南地区中学校の統合問題があったということでございます。それでそこには、答申は先ほどの1番、2番ありましたが、それが実現されていないというか、私どもの疎かなことで実現していないというので、それが今進めていない課題であるということをお話しさせていただきました。第1回目の時には議事録見られたと思いますけど、もうお叱りの声ばかりでした。なぜ今までやってなかったのか、誰が止めていたのかということ、委員の皆様からも多く意見をいただきました。この検討委員会で何を僕たちは議論したらいいのかということを確認にしましょうよ、という内容でした。2回目の時に目的は南中学の統合ということで、皆さんで意見が統一されました。その中でやはり先ほど教育長が言いましたように、その答申の山岡に1校新築、それと通学方法のスクールバス、明知鉄道というところが1番の課題だよということ、委員会の皆様のご指摘してくださったということです。それを受けて教育環境等検討委員会は、そのことについて話し合っていかなきゃいけないという認識を持ったところで、第2回目が進んでいったわけでございます。ですので、教育委員会としましては、この望ましい教育環境について皆様で話し合っていて、提言書をまとめるということの中で、第3回目に提言書がまとめられたというわけでございます。そこの委員会の中の皆様の意見がこの4項目の提言になったということがありますので、もちろん教育委員会はこんなことが課題だよという話はさせていただきましたけれども、その委員会の中で決定して提言をまとめてくださったということです、よろしく願いいたします。

保護者 議事録読んでいてすごく思った内容なんですけど、これは個人的な意見です。委員会と教育委員会は、教育委員会が出したものに対して、委員会が確認するというような役割で進めるべきものだと思うんですが、教育委員会とこの委員会の関係ってずぶずぶな状態で、議論されてないというか、教育委員会が言ったことに、そのまま委員会がうんというような内容で進めているような内容になっているんじゃないかなという感じが、すごく議事録と読んでいて読み取れるという風に感じました。その内容でもうちょっと聞きたい内容があります。この委員会の中で、第1回でまず委員会だよりを書いてありますけれども、保護者の意見を多く吸い上げながら統合に向けて、委員会でスピーディーに進めないといけないという文言が出ております。さらにですね、第1回の議事録なんですけれども、この会議の内容を保護者ですね。対象になっている恵那南地区の保護者に。すぐ一冊を通じて配信していきますよ、という風に明言されているのにも関わらず、全くされてない状態ですね。で、今に至っているという状況ですね。なので、先ほど僕の質問の前にもあったような保護者の方からの質問が出てしまうと思うんですけども、この点について、このやり方に

室長 ついてはいかがでしょうか。ご意見お願いいたします。

保護者の意見につきましては、その検討委員会の中では代表としまして、市PTA 連合会の代表の方が4名、こども園の代表の方が2名入っておりますので、その方たちの意見も聞きながら、令和3年の4月から6月にかけて行った地域の中での保護者説明会、そこで出された意見を説明しております。文書的には主な意見のみ記載しましたが、多くは口頭の中でお話をさせていただいております。もう1つ、皆さんへの保護者への周知ということに関しましては、第1回目、第2回目では、決まったことはございませんでした。ですので、経過等も含め報告するのが本来でございましたけれども、まだ曖昧なことがございましたので、第3回目で決まった中で便りを出させていております。さらに、提言がまとめられたことについても、早急な対応させていただいてホームページの方にも掲載しておりますので、よろしくお願いいたします。

保護者 僕の質問は保護者に対してしっかり報告していきますよ、と言っているのにも関わらず、どのように報告されていたのですか、という質問になります

室長 先ほど申しあげましたように、第2回目のことにつきましては、教育環境等検討委員会だよりとして、保護者の皆様に紙でお配りさせていただきました。さらに各学校の中ではすぐーという連絡方法で出していた学校もございますのでお願いいたします。

保護者 すぐーは具体的にどの学校から出されたんでしょうか。

副室長 すぐーにつきましては、各学校の方で保護者の皆さんにすぐーを通して、お配りをさせていただいております。こちらの方ではどの学校がすぐーを活用したかについては、今手元に資料がございませんので、今ここではお答えができません。ご了承ください、

保護者 自分のとこに来てなかったんですけど。もしこの会場の中ですぐーって見られた方いらっしゃいましたら、挙手お願いいたします(0人)。

副室長 そうしますと、岩村の地区につきましてはすぐーではなく、紙の方でお知らせをさせていただいたということでございます。

保護者 第1回委員会と第2回委員会の委員会だより、12月2日発行の委員会だよりを配布したということでしょうか。第2回の委員会が10月26日に終わってるんですよね。その時点で配布されたということでしょうか。

室長 第1回目と第2回目が終わって、第3回目が始まって、その後に配布させていただいていると思います。

保護者 第2回でこの便りを見ると、通学方法とか開校時期、新校の場所についてほぼ確定しているんですけど、なぜ出してないんでしょうかね。この点についていかがでしょうか。

副室長 まだ第2回の時点では、検討をなされている段階でございまして、この時点では、決定等ではございません。

保護者 議事録見て言っているんです。第2回の時点で、ほぼほぼもうすでにそうしますよというような内容になっているんですよ。ちょっとその辺、時間があまりないんで、じゃちょっと行きたいです。委員会で子供のことを1番に考えることを視点において、特に重要な検討事項として、通学方法、開校時期、新校の場所について検討しましたという風を書いてあるんですけども、議事録の方見ましても、まず通学方法。スクールバス。子供のことについて議論されているような議事録全く載っておりませんでした。さらに開校時期につきましても、これも子供のことを1番に考えるという風な内容の議事録にもなっておりません。さらに新校の場所につきましても、市民の総意というような一言、議員の発言のみになっております。ということは、この辺についてあまり議論さ

れてないのに、そのように子供のこと1番に考えるというようなことの、言葉を飾ったような状態でこの委員会だよりが発行されているよというように思っております。なので、この辺についてもう少し突っ込んで聞きたいと思うんですけども。通学方法のシミュレーションされているという、子供のことを考えているならば、通学方法のシミュレーションどのように行ったのか、ちょっとお伺いしたいんですがいかがでしょうか。

室長

先ほども説明させていただきましたように、コストを考えれば45人乗りのバスを数台買って、全ての子供たちを乗せて行けば、少ない数のバスの購入費用でいいとは思いますが、やはりそうなってくると、串原だったり上矢作だったりの多くの子は、だんだん停留所で子供たちを乗せていくとすごく時間がかかって、1時間半以上かかってしまう、そのようなシミュレーションをさせていただきました。しかし、子供たちの、通学時間の負担を軽減することを考えると、やはりなるべく通学時間は短縮したいと私たちも思っております。現在スクールバスを利用している学校は、自主運行バスのルートでスクールバスというのは動いております。ですので、それを基準にして1番最短距離ということになりますと、経由しながら通学するのではなくて、直接その地域の子供たちを乗せて、学校に向かうということのシミュレーションをしているところがございますが、今後の準備検討委員会の中で、やはりもう少し最短でということになってくると、もう少しバスが多くなったりとか、そういうことも考えられますし、今回はスクールバスを買うという前提でお話をさせていただきますけれども、そのバスの購入にも少し時間がかかったり、先ほど誰か申し上げましたように、運転手がいなかったり、そういうことも出てくると思いますので、そういったことを可能にできるような業者さんに全てを委託するという方法もあります。バスも運転手も全部業者さんに委託するということになる、運転手の確保とか、そういうこともなくなることはあり得ますが、これも今決定事項では全然なくて、今後の検討委員会で決めていくことになると思いますのでお願いいたします。シミュレーションの方は、今のところ自主運行バスのルートですので、実際動いてみた中で、本当にルートを変更する場合もあるかとは思いますが、先ほど申し上げましたように、委員会の中で変わっていくということですのでお願いいたします。

保護者

バスのシミュレーションで、子供のことを1番に考えているとおっしゃっているという点から考えて、実際に例えばですけど、上矢作からバスに乗って、山岡まで行ったとか、そういったことももちろんされていると思うんですけども、実際やってみていかがでしたでしょうか。その辺、ご感想聞かせてください。

室長

まだシミュレーションの方はやっておりませんのでお願いいたします。それと申し訳ございません。他に言いたい方がいらっしゃいますので。

保護者

長すぎちゃう。何が言いたいのかさっぱり分からん。過去のことなんかどうでもいい、これから進んでいく学校統合についてみんなで検討しようと言っているのに、なんで過去の話とか。質問時間が終わっちゃうもんで、これからの話をさせてもらってよろしいですか。

室長

はい、どうぞ。

保護者

これはもう決定事項ですかね、山岡に建てるというのは。どんな意見が出てきても、もう決定事項ですか。

教育長

はい、教育委員会としては山岡でと考えております。

保護者

さっき、保護者の方が言ってみえた2校にするというのがすごい良い意見だなと思ったんですけど、そういう意見が出てきてもこれは決定事項で進めていく

教育長
 保護者
 教育長
 保護者
 教育長
 保護者
 教育長
 保護者
 保護者
 教育長
 保護者
 教育長
 保護者
 副室長
 保護者
 教育長
 副室長
 保護者

んですか。
 はい、教育委員会としては1校で進めていきたいと考えております。
 これ反対意見をどうしたら押し通せるんですかね。これだけ反対意見の方がいるのに決定事項、決定事項って言われたら話が全然進んでかないんですけど。
 まず、私たちは先ほども申しましたように、ある程度の規模の学校を作りたいと。
 でも、今までずっと岩村は2クラスで20年、25年ぐらいかな。やってきとつて、岩村はもう歴史ある町なんですよ。この歴史ある町よりも、なんで山岡に持って行くのかな。
 それにつきましては、私どもは5校を1つにということを考えましたので、距離的なことを考えると、山岡が1番遠いところから1番中心にあるという、そういう捉えでございます。場所的なものでございます。距離的な。
 歴史よりも場所ですか。
 5校が集まってくることを考えると、そちらの方です。距離です。
 もう1点だけいいですかね。これから正直教育委員会の人たちはもう老いて、変な言い方ですけど死んでいく人たちじゃないですか。これから恵那市を盛り上げていく若者のために若者の意見を聞いてほしいです、しっかり。子供からアンケートを取るとか、これから子供を産んで育てていく人たちのアンケートをしっかりと取ってもらって、その人たちの意見を取り入れていって決めてほしいですね。
 これから作っていくということを前提に色々な意見をいただきながら、より良い学校を作っていくたいというのが思いでございますので、意見はいただきたいと思っています。
 意見を取るのとは簡単なことですね。そのアンケートをやって、その結果報告とかもしてくださるんですかね。
 取り方等も含めてですけれども、今この場でアンケートをどんなのを取るのかということについては、お答えが難しいかと思っておりますので検討させていただきます。
 質問の最中に間から入ってしまいまして、すみません。
 その他にご意見のある方、挙手をお願いいたします。まだご発言をされていない方をお願いいたします。じゃあ、こちらの手前の女性の方をお願いいたします。
 岩村小の3年生の母親なんですけども、私ここに来る前に何回か説明を聞かせていただいていた。もうこれは決定事項なのかなと思って、山岡に3年後に行きます、という風で思いながら来たんですけど、今回の説明会というか内容を聞いていると、これは意見を言ったら覆せるものなのかなという印象を受けました。もし、そこが覆されない、決定事項を統合1校に山岡に作ります、ならば、もうそれも教育委員会の方から言っていたら、でも、私たち保護者はそれに向けて動くしかない、じゃないかなと思うんですけども。本当になんでも意見ください、アンケート取ります、反対です、で覆るような事項なんじゃないかな。
 ありがとうございます。覆るということではございませんけれども、やはり今これで4地域目に入ってきました。私たちが持っていないような見方とかご質問等もあってですね。やはり意見を伺うということは大切なことかなと思っております。ただ、私たちは1校で山岡に新しい学校を作りたいという思いでございます。
 はい、そちらの男性の方をお願いいたします。
 岩村に住んでおります。今、恵那北中学校に勤めております。ですので、私の

知る限り、皆さんに情報提供と思います。まず恵那北中学校なんですけれども、3町が合併している中学校で、とても温かくて、いい学校です。それは、人数は非常に少なく、様々な課題の中で保護者の方々の協力があって、成り立っている学校だというのが第一です。働く身としては、やはり人数が多い方に越したことはないです。本当に様々な問題は、多かれ少なかれあると思いますので、そういった中で、子供たちがどう成長していくのかというのは、本当に地域の皆様に支えられている、それが本当に答えだなと思います。ですので、皆さんがいろんな意見がありながらも合併しての今、10何年経つ恵那北中学校の今の形だと思います。自分としては保護者の立場で話をすると賛成ではあるんですけど、この恵南地区の統合になんですけど、やはり時期は3年後っていうのは多分難しいのかなっていうのが正直なところなんです。もうちょっと時間をかけながら、行けるといいんじゃないかなというのが、自分の答えと言いますか、考えです。ただ、ゴールを決めておかないと何も話が進まない。多分そのことで、決まらなかったから、過去の今の話でずるずるっと来てしまったんじゃないかな、という風なこともちょっと想像をしています。最後に皆さんへの情報提供ということで、部活動に関わって非常に関心が高いかなと思うんですけど、市の中体連の理事長も今させていただいております、現状何も決まっていません、それが答えなんです。なので、今年の6月の中体連も、例えばクラブチームが参加できるのか、部活動も合同部活動が参加できるのか、何も決まっていません。ですので、私たち自身が困っている。教員としてもどうすりゃいいんだということです。となると当然、先ほど教育長さんがおっしゃられていましたけれども、さらに先の3年後の部活動の存在すらわかりません。ですので、今やられているとか、今運営されている地域の保護者の方々を中心とした各クラブ活動というんですけど、部活動とクラブ活動は今別です。ということなので、クラブ活動がおそらく中心になるであろうという予想しかないような状態です。現実的なことを考えると、バスの通学時間が非常に長いとなると、南中学校での部活動という時間の確保の仕方は、非常に困難というのが予想される部分です。なので、先ほども自分の子が部活動に入ってレギュラーになれるかどうかという話もありましたけど、その頃には中体連が本当はないのかもしれないし、あるのであれば、今のよういきちと部活動だけの枠、学校の代表としての枠ではない可能性が高いというのが、今僕の知っている限りの情報になります。以上です。

副室長

部活動につきましては、この通学の時間がかかってしまうために、実施できるのかどうかというご心配の声は多くいただいています。恵那市内の他の中学校の例で申しますと、実際ですね、平日に部活動の時間、放課後の部活動の時間を確保するのは、どこの学校も大変、難しいということで苦慮しています。お子さんたちが明るいうちに帰宅するためには、実際冬場は部活動ができていないような状況です。そのような中ですけども、学校の時間割等をやりくりしまして、なんとか1週間のうちに部活動ができる時間を確保する工夫を各学校で行っております。この新しい中学校でそういった時間をどのようにして生み出すのかについては、これは教育委員会も含めて相談に乗りながら、また保護者の皆さんや子供たちの考え、願いなんかもそこ繋ぎながら、今後準備委員会で検討してまいりたいと思っております。

保護者

あの後ろの男性の方はい、お願いいたします。先ほど色々意見もありましたので、ちょっと絞ってお願いというのもありますけど、お話させていただきます。今回初めて来ましたので、そもそも目的は何っていうのは、なぜ資料に書かれてないんでしょうか。それが分からないとま

ず判断ができないので、それは書いてください。そうしないと分かりません。まず1点目のお願いです。もう1個、先ほどちょっとありましたけど、子供の成長が育めるって話がありましたけど、最終的に子供たちがどうしたいという話があるので、それは聞かないとわからないと思うんですよ。それは、しっかり聞いてほしい。あと先ほど北中の話出ましたけど、北中は人数少ないですよ。先ほどのクラス替えをした方がいいよっていう話もある中で、そうすると、北中はもうなくなることで確定ってことでいいんですよ。

教育長
保護者
教育長

いや、そういうわけではございません。

そうでないと辻褄が合わないですよ、話と。

保護者

ちょっと違います。学級替えもしたいですし、先ほど最初に申しましたように、多様な考えにも触れるということも大切ですので。

それじゃ少ないところは、今後どうなっていくんですかね。ちょっと脱線しますけど。というのも令和4年に27人なるわけで、もっと先のことまで考えていくと、じゃあこれどうなっていくのって話になりかねないので。ちょっとそういう長いスパンで言う必要があるんじゃないのかなってところはちょっと思ったので。先ほども3年じゃ無理なんじゃないのっていう話もあると思うんですけど、それは確かにそうで、各課題があって、それに対してマスタースケジュールを引いた時に、それはその線に乗るのか、必要時間がどれぐらいかかるのかっていうのは、見積もりを出すのは当然で。それで間に合うのっていう話が検討できているのかというのはありますけど。どっちにしても、人数が令和4年の出生まで見えているってことは、そこまで考えたときにどうなの、というところまでちょっと考えてやっていただきたいなという3点です。

副室長
保護者

ありがとうございます。それでは、その他ご意見のある方は。

まず保護者の皆さんすみません、ちょっと前後ろ向いて話させてもらいます。まず私、上矢作の方の説明会も行ってきました。教育環境等検討委員会も行ってきました。聴講に行きました。私の意見としては、統合は致し方ないと思います。ただ、岩村に中学校は残したいんです。なんで1番人数が多いところに、中学校がなくなるのかっていう。そもそもですけど、統合する指標みたいなものがあるはずなんです。それはどこにあんのっていうところ。ちゃんと話してもらわな分かんし、あんたらバッチつけてSDGsだっつって未来都市言っとるけど、教育の平等もなくなっています。持続可能な都市もなくなっています。あなたは上矢作の時に、この地域が寂れてくるので、寂れてく委員会作ってもいいんじゃないですかみたいな、ふざけたこと言いましたよね。それを言うなら、いや俺ね、録音してあるからそれ出すよ。出すとこ出していい。今日も議事録誰か取ってる。取ってる議事録。カタカタやってる、ああやってる。お前寝とったし、さっきね。おっちゃんも寝そうになっとるら。あんたらは何年間ね、こういう仕事しとればで、次の所行くで知らんぷりよ。俺らは一生涯の問題。子供や孫のために俺らは動かなあかん。そういうとこやで。あんたはこれで統合したら統合したでつって実績ができて、ええとこ行けるかもしれんけど、俺ら学校なくなって、町がなくなって住めんくなって、ここはなくなってまうんやで。俺は岩村の人間やない、御嵩の人間や。住んで10年しか経ってねえよ。ほんで、それで郷土愛とかって言われても俺はないよ。正直御嵩にしかねえ。岩村に愛は無い。でも子供の町や、孫の町や、その先の未来のために、俺らは俺らで動かなあかんやで。ほんで、そのために色々画策してやっつって、そんであんたらは、いや、28年の答申を進めます、って言うけど、28年から生まれた子たち、その子たちに説明が行き届いてる、行き届いてないっすよね。今日来てない人、どんだけいるんすか。来てなかったらこの

紙ペラね、誰にも行かないわけじゃないですか。この前の夏にあった地域説明、これも来てない人に情報が行ってない。その後の地域の情報も出てない。そんな統制されとる状態で、その辺が恵那市この南の保護者の意見、4ページのやつ5ページのやつ、これ書いてあるけど、これあんたらの情報統制で、良いことしか書いてないよね。悪いこと書いてないよね。俺言いましたよね、瑞浪の統合の時のメリット表示をした、デメリット表示出せって。出してねえやろ。あんたらはいいとこしか出してないわけね。今から出して遅いんだって。あんたらがもう決定って決めとるんだで。それを出してないでしょ。おい出すつつただろ、おい。出すって言ったよな。出してねえやろ。出してねえのに進めるのおかしねえか。これおかしいやろ。保護者置き去り、子供置き去り。あんたらがいいようにやって、準備委員会もあんたらの言いなり人間作ってるかもしれんけど、そんな奴らが決めとるような状況で、住民置き去りにして。ほんで説明会もこれ見たら180人ぐらいしか来てねえやんね、前のとき。28年の時に千何人来とって、この10倍近くの差をどうやって埋めるの。説明行き届いてないこれ、絶対おかしい。おかしいと思わん、あんた。ねえ、教育長。お前が頷いたら終わりやと思って頷かんと思うけど、これおかしいやろ。足組んで聞いとる場合やねえやろ。ちゃんとピシッと立てよピシッと。ちゃんと聞けや。

教育長
保護者

私たちはいい加減にやってるわけではございません。
でもさ、あんたさ、内々で決めたつつってさっき言っとったよね。教育委員会の中で。そこに保護者や子供の意見どこにも通ってないよね。

保護者
保護者
保護者
保護者
保護者
保護者

もうちょっと落ち着いて話してくれん。
でも俺は俺の意見を言わせてよ。
もうちょっと落ち着いてよ。みんなの場じゃない、ここ。
これで終わるでいいよ。
終わるって自分で締めるの。
ちやうちやうちやうちや。俺で終わりじゃなくて、俺の意見はこれで終わるでって。

教育長
保護者

その内々で決めたってというのは。
教育委員会の5人で決めて、それをこの27年から令和3年、保護者行くまでに決めて、その間の情報は開示されないわけでしょ。そこに、保護者やその他の意見はどこにも反映されないわけじゃないですか。その間に生まれた子供たちや親の意見っていうのはどこにも通らんわけじゃないですか。それ勝手に決めていることを進められても困るっちゅう話なんですよ、その人たちには行かないで。こども園行っていない人たちに説明行かないんですか、これおかしくないですか。

教育長
保護者

こども園行っていない人ですか。
こども園行っていない親御さんたちに、今生まれている子たちに、統合するなんて知らずにここに越してきた人たちも、いっぱいいるわけですよ。これ説明行ってないですよ。

教育長
保護者
教育長
保護者

そういうことについては、例えば恵那市のホームページとか。
ホームページ載ってないでしょ。
いや、これからできるということです。
これからでしょ、おかしくない。決まってからできるんでしょ、おかしくないですか。上矢作のとき出てましたよね、28年以降の情報出てませんよねって指摘ありましたよね。それおかしくないですか。

室長

28年からの状況については何も決まってないところでしたので、ホームペー

ジは出してなかったです。今回、公聴会の意見とかは公開させていただいております。もう1つ、検討委員会のことにつきましても、ちょっと遅くはなりましたが、ホームページの方には掲載させていただいております。議事録も本来ならばすぐに出さなきゃいけないですけど、いろんな誤字脱字、いろんなところで見て、委員の皆様にもこれを出していいかという確認を取りながら出しているの、今は出しています。当時は本当に何も決まっていなかったの、決まって無いことを公開することはやっぱりできないのです。しかし、今回の委員会での提言までは公開しています。あ、すいません、平成28年度の答申以降については、おっしゃる通り何の情報の公開はしていません。何も決まっていなかったもので、よろしくお願ひします。

保護者

もう1点ごめんなさい。串原の方で2校に統合した場合のコストが、1校に統合した場合と改装のコストがほぼ一緒っていう話を聞いたんですけど。増築をしなくて2校で行けるんだったら、そんなコストかかるわけがないと思うんです、増改築に。それは、建築関係の方に聞いてもらった方が分かるんで、そういう方に聞いてもらえば分かるんですけど。それはどう考えてもコスト的に、その時15億って言ったのかな。ちょっと分かりませんが、それを2つの学校にするのと、1つの学校を増築するの。増築しないで2つのままで行くのと、増築して1校にするのはコストが一緒っていうのは、ちょっとどう考えてもおかしいと思うし、その時は資料が手持ちにないで申し訳ありませんという答えをしたそうなんですけど、それはおかしかったですよね。コスト的に。

室長

コストなんですけれども、確かに15億から17億という増改築のお金がかかるとお話しさせていただいております。今のところの目安です。というのは、5年前に増改築や新築について費用を積算しましたが、その中には場所によっての費用、用地の案というところを考えた中で15億という数字が出された訳なんですけれども、それからやはりこの世界情勢の中で、少し材料とかも上がっていますので少し割り増して、試算しておりますが、もしかするとそんなにはかからないと思いますし、2校にしたとしてもランニングコストもかかっていきます。3校にしてもランニングコストもかかりますし。改築はしないけれどもコスト的には、ランニングコストには3校分が必要になってきますので、そうすると一緒ぐらいの数字になるのかなと言うようなことは試算しております。

保護者

じゃあ、その損益分岐点的なところは何年かかるんですか、2校した場合と1校と。コスト的にランニングコスト、人件費とかかかると思うんです。それは、2校でやった場合と1校でやった場合の最終的なその経費。前の時も言いましたけど、今どんだけ経費かかっているんですかって聞いたら、答えられませんとあなたおっしゃいましたよね。それが2校と1校になった場合の経費がどこで着地したら、その合点が行くところにまで行くのかっていうので、2校で行けるんだしたら、そのまま2校で行きゃあいいんじゃないですか。学校も残すんであれば、残すなりにコストがかかるとは思いますけど、体育館は残します。学校の校舎これから活用考えますと言うけど、活用考える前に色々維持費がかかるとは思います。壊すにもお金かかるとは思います。だったら残せばいいんじゃないですか学校、2つに。

室長

先ほど申し上げましたように、コストとかいうよりもまずは子供たちの教育環境を整えたいというのが、教育委員会の一番の願ひでございます。もちろん先ほどから1校、2校、3校説ございますけれども、教育委員会としましては、やはり今の子供たちの環境も整えたいと思っているんです。ですので、コストも色々かかるとは思いますけれども、子供たちのために1校統合。これはもちろん教育委員会も進めていきますし、それこそ平成26年とありますけど、も

っと前からこの南地区の中学校のことは検討されております。そのことも踏まえまして、やはり早急な対応を私共も考え、1校、それも3年というお話を検討委員会の中ではさせていただいております。ですので、それに向かって進めていきたいと思っていますので、皆様のご協力をお願いしたいなと思っております。

保護者
副室長
保護者

すいません皆さん、場を汚してすいませんでした。申し訳ありません。
はい。

岩村町本町3丁目の松浦と言います。1歳3ヶ月の子供がいます。よろしくお願ひします。僕は積極的賛成ではないんですが、自分の子供のことを考えると、1校にした方がいいのかなと思っています。時期はまた考えた方がいいという立場で発言させていただきます。2点ありまして、1点目が今、会話の流れでスクールバスを委託するかもしれないというお話が出たんですけど、歩いて登校するのと車で登校するもので、一番不安なのは、事故が起きた時にすごい人数が亡くなる。たまに瑞浪恵那間であるんですけど。マイクロバスとかで僕、部活で遠く行っていたので分かるんですけど、すごく危ない乗り物だと思うんですけども。それで僕の希望なんですけど、それまで明知鉄道があるかわからないんですけど、岩村に関しては、あの明知鉄道を使ってもいいのではないかな。乗車券を市の方が負担していただければ安全かなと思うんですけど。駅から山岡中学校まで距離があるので、そこでバスをやっていただくと。僕ちょっと都会に行っていたので、田舎暮らしの1番のネックって、電車を経験しないことです。普通に生活していると。高校で岩村から出ない限り、電車通学がないので。それも経験できてバス通学も経験できるので、そういうのを検討してできるかどうかということなんですけど、どうでしょうか。

教育長

検討はこれからもまたできると思います、時間もありますし。先ほど言われましたように色々、例えば道が変わってくるということもあれば、それに合わせてってこともありますので、今の貴重な意見として聞かせていただきます。検討します。

保護者

ありがとうございます。山岡の駅から山岡中学校までピストン輸送すれば、結構いいのかなと思って。明智・岩村だったらできるのかなと思うんですけど。なるべく車に乗る時間を少なくして、みんなでワイワイ行けると。電車通学楽しかったので、いいかなと思って提案させていただきます。僕子供が1歳なので、僕は統合した方向がいいなと思っているんです。なので、こういう意見になります。もう1点が僕、岩村から恵那の方に高校行った時にすごく感じたのが、大変な教育格差を感じました。岩村では勉強できたんですけど、恵那高に行った時に自分の勉強のできなさというのをものすごい感じまして。恵南地区で岩村って昔は東大生を輩出するような高校だったし地区だったんですけど、やはり人数が減ったことで教育格差がすごい。大井、長島、瑞浪、東濃地区の中でもあると思います。正直、岩村は高校もなくなって、中学校もなくなるってなると、行政サービスが非常に低下して、教育的な面でも下がると思います。それに対して具体的な、恵那南になることでメリットというのを明確に出してほしいんですけども、それについてはいかがでしょうか。

教育長

はい、ありがとうございます。小さい学校にももちろんメリットありますし、大きい学校にもメリットがあるかなということは考えております。1つは先ほど言われました教育のことで言いますと、教員が増えるっていうことは、1つ大きな環境として良いことだなということは思っております。それから先ほど言いました、色々な方と交流ができたりするということ。それから、他地域のことでも学ぶことができるということも1つかなと思っています。他にも例え

ば、人ですので合う合わないというのもあったりすると思うんですけども、教員もたくさんいればいるほど、相談しやすい先生というのも増えてくるのではないか、という風にも感じております。他にも良いところあると思うんですけども、良いことばかり書くのかということも言われますので、もちろん大きくなれば、小さい学校に比べれば、ひよっとしたら個別の関わりは多少少なくなるのかもしれませんが、でも、いろんな先生と関われる、大きくなれば、というようなこともあると思います。またそれも整理してお示しできる、という風に思っております。

保護者
副室長
保護者

ありがとうございました。

はい、保護者の方。

今、小学生と年長の子供がいます。前回夏場にこういう会があったんですけど、先ほど言われましたけど。その時に出た意見として、1校ではなくて2校とか3校にしたらどうだっという意見も出たはずなんですけど、この冊子には全然乗ってないんですけど、そんなこと。これってどうなっちゃったんですかね。出てないことになっているんですかね。その辺はちょっと聞きたいんですけど。あと、先ほども言われたんですけど、メリットばかりでデメリットの説明がないよって言われたんですけど、今回はそういうもの書いてあるのかなと思ったらそれもないんですけど、これって、住民の意見が消されたっぽいような感じなんですけど、どういうもんですかね。

室長

今回の説明会は、開校に向けての説明会ということですよ。保護者様の意見、春にやった意見については、まずは検討委員会の中ではお示ししました。それと、ここに書いてあるのは主な意見ですので、主な意見ということでこちら今回載せております。メリット・デメリットにつきましては、私どもはもうメリットしかないと思っております。デメリットと申しますのは、やはり通学に少し時間がかかってしまうとか、そういうこともありますけれども、今回は開校に向けての説明会ですので、メリット・デメリットの辺は掲載しておりませんので、よろしく願いいたします。

保護者

じゃあ次回こういう場があった時は、今回出た意見、例えば反対がこの会場の大半いましたよ、とかいう意見はちゃんと載るんですよ。

室長

記録には載りますけれども。

保護者

冊子には載らないと、今回初めて来た人は、前回の人たちは反対はなかったんだねって思っちゃうと思うんですけど。その辺は前回、確かに大半の人は1校はちょっとという意見が大半だったと思うんですけど、来てないと分かんないですよ、それは。これはどうなんですか。意見が出ているのに、知らないで済んでいっちゃうんですけど。

室長

今回の保護者説明会も5地域に渡って行っているところです。上矢作、串原、山岡もやっております、そのことについては今日も来てない方もいらっしゃいますので、議事録として公表はしてきます。ですので、今日の反対意見というか、いただいた意見についても、全部ではないですけども、主だった意見として載せていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

保護者

お願いします。

室長

冊子というより議事録として残していくということになりますので、お願いいたします。

保護者

議事録というほどで見ればいいわけですか。ホームページで見ればいいですか。でもそれじゃあここに来た人は、見えない人が大半になっちゃうと思うんですけど。ここに来てない人は、ここに来た人がみんな賛成したような感じの冊子を次から来ればもらうってことなる、そんな回答ですか。

教育長 5 地域終わったところで、それぞれの地域で出た意見。もちろん1校じゃなくて、2校、3校でもいいんじゃないかという意見も出ておりましたので、そういう意見も含めて、文章にして周知していきたいと思います。保護者に配ったりとか、回覧もあるかもしれませんが、そういう形で形にして周知しますのでよろしくをお願いします。

保護者 個人的には今の気持ちは、こういう時代が来るのかなと思っているんですけど、3年後に1校というのはやっぱりちょっと問題があると思うので、もう少し2校、3校からやっていく方がいいんじゃないかなって思います。そういう意見も多分結構出たので、その辺はしっかり皆さんに周知徹底できるようにしてもらえるとありがたいです。

副室長 ありがとうございます。

その他 はい（挙手）。

副室長 それでは申し訳ございません。時間も9時を回っておりますので。

その他 はい（挙手）。いいかな。

副室長 すみません、お時間も来ておりますので。

その他 私、岩村町の元教員です。80です。先ほど受付をしたらそこで、今日は保護者の説明会だからあんた方は発言せんようにしてほしいという風に言われました。じゃあ証人として来たんだけど、証人の意見は言う場はあるかって聞きました。そうしたら、まだそれは決まっております。だから、今喋らんともうする機会がないかもしれません。

副室長 すみません。先ほど地域への説明会は、また後日開催いたしますという風でお話をさせていただきました。まだ日にちはこれから調整です。開催いたします。

その他 私が言いたいことは5つありますが、まず1つは教育委員会の姿勢がおかしい。私は新聞を見て、それから最近出た考える会の印刷物しか情報がないんですから。教育委員会がおかしい。山岡中を活用し26年度開校、という見出しで新聞が出ました。この見出しを見て、これは明らかに世論の操作をしているわけです。教育委員会が。実は、今日の説明会に来て、まずこれは教育委員会として議会へ答申したということですね教育長。教育委員会から議会へ答申したということですね。

教育長 まだです。

その他 実はこの恵南中学校の未来については、まだ何も決まっとらんです。議会が決定するんであって、教育委員会が決定するんじゃないです。ですから、こんな決まってもおらんことで、さも決まったように中学校開校に向けての保護者説明会という言葉で、どういう意味があってこれをするんですか。だから、みんなも多分この新聞を読んで、もうストーリーなんて頭の中に入っちゃっている。恵南の中学校問題は統合で決まったねって、みんな思っているんじゃないですか。というか、決まっとらへん。だからこの会はおかしい。決定するのは議会ですから、私は統合問題はもうやむを得んと思っております。けれども、こういうおかしな手を使って、話をどんどんどんどん進めていこうとする教育委員会のやり方については、それは絶対におかしい。一言言わないといけない。議会が決定するんだったら、どうか統合問題については、いろんな意見がみんなにありますから、よく聞いて、議員さんたちの知恵を絞って、いい方法を出してくださいということを、声を出して言わなあかんと思うわけです。多分きっと議会に対しては、住民との話で署名活動があると思いますけれども、それで議会の方へしっかりと考えを求めていかれたいをお願いをしていこうと思います。みなさんも是非そうしましょう。

副室長 それではお時間も来ておりますので、これを持ちまして恵那南地区中学校の開校に向けての保護者説明会を閉じさせていただきます。本日はたくさんお集まりいただきまして、ありがとうございました。

開 会（午後9時10分）